

2020
Vol.31

増刊号-II

老年精神 医学雑誌

Japanese Journal of Geriatric Psychiatry

第35回日本老年精神医学会 プログラム・抄録集

大会長 浦上克哉(鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座環境保健学分野)

会期 2020年12月20日(日)~22日(火)

会場 WEB開催

Z19-2897

雑誌

31(-)=406(増刊2):2020.12



1 2 0 2 0 0 1 3 8 7 7 9 1

国立国会

2020.12.14

図書館

老年精神 Vol.31 増刊号—II 医学雑誌

Japanese Journal of Geriatric Psychiatry — Dec. 2020

目次

第 35 回日本老年精神医学会 プログラム・抄録集 テーマ：地域を支える老年精神医学

大会長挨拶	3
第 35 回日本老年精神医学会の開催にあたって	
大会参加者へのご案内	4
講演についてのご案内	7
大会長講演，特別講演，特別教育講演，教育講演，シンポジウム， 共催セミナーのご案内	9
日程表	19
一般演題 演者一覧	24
第 35 回日本老年精神医学会大会プログラム	27
大会長講演，特別講演，特別教育講演，教育講演，シンポジウム	28
一般演題（口頭発表）	45
一般演題（ポスター発表）	53
講演抄録	69
大会長講演	69
特別講演	71
特別教育講演	75
教育講演	81
シンポジウム	97
演題抄録	157
口頭発表	157
ポスター発表	175
人名索引	213

睡眠薬は安全か？

— 高齢者に睡眠薬を処方する際に注意すべきこと —

松本俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

演者らが経年的に実施している「全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査」の最も直近の調査である2018年調査では、全年代の薬物関連精神疾患症例を主たる乱用薬物別に分類すると、最も多いのが覚せい剤の56.0%であり、次いで睡眠薬・抗不安薬の17.1%であった。ところが、70代以上に限定した場合、この順位は変わらないものの、それぞれの割合は大きく変化し、覚せい剤47.7%、睡眠薬・抗不安薬38.4%となっている。このことは、薬物依存症臨床の現場に訪れる高齢者の多くが、ベンゾジアゼピン類を中心とする睡眠薬・抗不安薬関連の精神医学的問題を呈していることを意味している。嶋根らが埼玉県薬剤師会の協力を得て実施した薬局調剤レセプトに依拠した調査では、すべての薬剤のなかで複数の診療科から重複して処方されることの最も多い薬剤は、エチゾラムであることが明らかにされており、なかでも70代以上で内科および整形外科からの重複処方というパターンが多いことを指摘している。以上の事実は、加齢に伴い、様々な診療科に受診している高齢者が、その都度漫然と睡眠薬・抗不安薬を処方された結果、薬物依存症をはじめとする様々な薬物関連精神疾患を呈している可能性を示唆する。

すでにわが国では、診療報酬改定のたびに多剤処方の減算等による睡眠薬・抗不安薬の処方抑制施策を講じている。しかし、奥村らの調査によれば、多剤処方の割合は費減しているものの、全処

方薬剤のジアゼパム換算量は変化しておらず、その効果は限定的である可能性を指摘している。また、米国では、メディケアが2006年にベンゾジアゼピン類を保険給付の対象から除外するという対策を開始したが、その効果は皮肉な結果に終わっていることが明らかにされている。というのも、確かにベンゾジアゼピン類の処方割合は著減したが、給付対象となっている抗うつ薬などの処方はむしろ増加して年間薬剤料は増加し、医療抑制の効果は得られず、それどころか転倒および大腿骨頸部骨折の発生率も増加したからである。なお、2013年メディケアはこの施策を撤廃し、再びベンゾジアゼピン類を給付対象にしている。

以上のことは、診療報酬減算や保険給付対象からの除外といった「懲罰的」な対策では十分な効果が得られない可能性を示唆する。たとえば、米国の例のように、ベンゾジアゼピン類の処方減少に伴い、抗うつ薬の処方が増加し、別の弊害が引き起こされるといったケースは、わが国でも十分に生じうる。事実、厚労科研中川班の報告書でも、2005～2009年の5年間において抗うつ薬との併用薬剤として抗不安薬は約7%減少した一方で、抗精神病薬は約2%増加したことが示されている。

今回の発表では、高齢者に睡眠薬を処方する際に注意すべき点、避けるべき薬剤について、薬物依存症を専門とする精神科医の立場から私見を述べたいと思う。

協力企業一覧 (五十音順)

医 歯 薬 出 版 株 式 会 社	株 式 会 社 日 本 文 化 科 学 社
Integra Japan 株 式 会 社	日 本 メ ジ フ ィ ジ ッ ク ス 株 式 会 社
エ ー ザ イ 株 式 会 社	ノ バ ル テ イ ス フ ァ ー マ 株 式 会 社
小 野 薬 品 工 業 株 式 会 社	富 士 フ ィ ル ム 富 山 化 学 株 式 会 社
第 一 三 共 株 式 会 社	ヤ ン セ ン フ ァ ー マ 株 式 会 社
大 日 本 住 友 製 薬 株 式 会 社	ル ン ド ベ ッ ク ・ ジ ャ パ ン 株 式 会 社
武 田 薬 品 工 業 株 式 会 社	株 式 会 社 ワ ー ル ド プ ラ ン ニ ン グ
日 本 イ ー ラ イ リ リ ー 株 式 会 社	

第 35 回日本老年精神医学会

大 会 長：浦上克哉

副大会長：兼子幸一，花島律子

事務局長：河月 稔

〒 162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2F

Tel：03-5206-7434 Fax：03-5206-7757

編集委員会

編集委員長

繁田 雅弘

編集委員

栗田 主一	池田 学
井藤 佳恵	入谷 修司
數井 裕光	齋藤 正彦
品川俊一郎	布村 明彦
松田 修	三品 雅洋
山本 泰司	(五十音順)

老年精神 Japanese Journal of Geriatric Psychiatry
医学雑誌 Vol.31 増刊号-II 第 35 回日本老年精神医学会
プログラム・抄録集

2020 年 12 月 1 日 発 行

発行人 吉岡千明

発 行 株式会社ワールドプランニング

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1

Tel：03-5206-7431 Fax：03-5206-7757

E-mail：rousei.z@nqfm.ftbb.net

http://www.worldpl.com

定価 (本体 1,900 円 + 税)

(送料無料)

年間購読料 25,080 円

振替口座 00150-7-535934

日本老年精神医学会会員

印 刷 株式会社 外為印刷

価格 19,200 円

ISBN978-4-86351-177-4

※本誌内容の無断複写・転載は著作権法上で禁じられています。本誌に掲載された著作物の複製・翻訳・上映・譲渡・公衆送信 (データベースへの取込および送信可能化権を含む) に関する許諾権は、弊社が保有しています。